



探究学習 振り返り・発表評価シート

といのタネ

このシートは、探究学習の発表会でそのまま使う記入用紙です。発表する生徒自身の振り返り、発表を聞く側の評価、相互のコメント、次回への改善点を1枚にまとめて記入できます。印刷して配布し、発表の前後で書き込んでください。発表者用と聞き手用を分けて、1人1枚ずつ印刷して使うこともできます。

記入日：_____ 発表者名：_____ 評価者名：_____

ステップ1:発表前に、自分の探究活動を振り返る(発表者が記入)

発表する生徒本人が、発表の前に自分の探究活動を5段階で自己評価します。1が「あまりできなかった」、5が「よくできた」です。数字だけでなく、右側の欄に具体的に何をしたかを短く書くと、後で見返したときに振り返りやすくなります。

振り返り項目	自己評価(1～5)	具体的に書いたこと
(記入例)問いを最初より具体的にできた	4	「環境問題」から「地域の食品ロスを減らす方法」に絞った
問いを具体的にできたか	_____	_____
調べた情報の出典を確認したか	_____	_____
計画通りに調査を進められたか	_____	_____
自分の言葉でまとめられたか	_____	_____

ステップ2:発表を聞きながら、評価項目に点数をつける(聞き手が記入)

発表を聞く生徒・先生が、発表の途中または直後に記入します。点数は1～5の5段階です。メモ欄には、点数をつけた理由を一言残しておくと、後でコメントを書くときに役立ちます。

評価項目	点数(1～5)	メモ
(記入例)問いが明確で分かりやすい	5	最初の30秒で問いが分かった
問いが明確で分かりやすいか	_____	_____
根拠となる資料・データが示されているか	_____	_____
発表の構成(導入・本論・まとめ)が整っているか	_____	_____
質疑応答に自分の言葉で答えられているか	_____	_____
制限時間内に収まっているか	_____	_____

合計点：_____ / 25点

ステップ3:発表者へ、相互評価コメントを書く(聞き手が記入)

点数だけでなく、発表者に伝わる言葉でコメントを書きます。「もっとこうすると伝わる」という形で書くと、発表者が次に何を直せばよいか分かりやすくなります。批判ではなく、次に活かせる形で書いてください。

よかった点:

気になった点・分かりにくかった点:

発表者に聞いてみたいこと:

ステップ4:発表を終えて、次の探究への改善点を書く(発表者が記入)

発表が終わった後、聞き手からのコメントと自分の振り返りを見比べながら、次回に向けて書きます。ステップ1で書いた自己評価と、ステップ3で受け取ったコメントの両方を見比べるのがポイントです。

今回の発表でできたこと:

聞き手からのコメントで気づいたこと:

次の探究で試したいこと(問いの立て方・調べ方・伝え方のいずれか):

記入して使う配布用の様式です。印刷してお使いください。

<https://toinotane.com>